

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 10 月 19 日(日) 19 時 00 分～20 時 45 分	
開催場所	南下浦市民センター	
出席議員	代表者	草間 道治議員
	司会者	草間 道治議員
	報告者	小林 直樹議員・藤田 昇議員・北川 年一議員
	記録者	中谷 博厚議員
	その他	岩野 匡史議長他 9 人の議員
参加人数	18 人	
報告会の概要	<ol style="list-style-type: none">1. 議会基本条例の説明2. 平成 25 年度決算の概要説明	

	参加者からの質疑	議会の回答
報告に対する 質疑応答	<p>1. 議会基本条例について</p> <p>① 一般質問について、一問一答と一括の人が2定例会とも同じ人数となっているが、議員の人数と質問者の人数が合わない。</p> <p>② 議会報告会の開催回数について、報告会はなぜ1回しか開催されないのか、どのような経緯でこうなったのか。</p> <p>③ 話を聞いていても「わくわく感」がない。わくわく感を市民に与えてくれるような議会報告会にしてほしい。</p> <p>④ 三浦市ではどんな問題が起きて、どのように議会は対応しているのか、どんなまちづくりをしたいのかが見えてこない。</p> <p>⑤ 有識者との懇談会とあるが、有識者とはどの範囲をさすのか。</p> <p>⑥ 市長の反問権という言葉は初めて聞いた、この意味と権利について教えてほしい。</p> <p>2. 平成25年度決算審査について</p> <p>① 三浦市が財政破たんするのではないかと心配している三浦市民がたくさんいる、本当ならば、財政破たんの可能性が何パーセントぐらいあるのか、心配しなくてもいいのか伺いたい。行政が一丸となって、三浦市民に絶</p>	<p>1. 議会基本条例について</p> <p>① 一般質問は、必ず質問しなければいけないわけではない。一般質問を行わなくても発言の機会はある、各委員会等で発言をしています。</p> <p>② 基本条例では、毎年一回以上開催するとしています。今回の報告会で出された意見を集約して、検討していきます。</p> <p>③ 今後、議会報告会の内容について、議会運営委員会で検討いたします。</p> <p>④ 各議員が一般質問や、各常任委員会、財政問題等特別委員会の中で、現在の状況や課題などについて質疑をして議論を深め、問題解決に取り組んでいます。</p> <p>⑤ 有識者については、広く考えています。テーマを決めて、その内容によっては商工会議所や企業、市民等との懇談会を、今後、各委員会で開催していきたいと考えています。</p> <p>⑥ 反問権については、一般質問で議員の質問に対して、市長が質問の趣旨がわからないときに限って聞き返すことができるものであります。</p> <p>2. 平成25年度決算審査について</p> <p>① 財政破たんについては、新聞報道でも心配されています。経常収支比率を見ても県下の中で最下位であり、本市の財政状況は他市と比べて決してよい状況ではありませんが、引き続き健全化に向けてより</p>

	<p>対に寂しい思いはさせないよう努力し、市会議員は市民が安心できるように努力してほしい。</p> <p>② 三浦市議会だよりについて。これを読んで、議員の方は一生懸命頑張っていることはわかるが、ほとんどが「この点はどうですか」という質問だけで終わっている。答えに対する提案が書かれていないことが残念。ぜひ、議員は調査をして具体的提案までしてほしい。</p> <p>③ 議会基本条例の制定については非常によい。平成 25 年度の予算の審議をされたのも皆さんだと思う。決算報告を承認しているが、提出された予算のとおり事業が進行していたのか。議案によっては賛成多数なので、何人かは反対したと思うが、その辺を聞きたい。行政が立案したものを議会が審議をしていると思うが、逆に議会側から行政に政策を提案することが必要である。二町谷の売却についても、行政に任せっぱなしでなく、議会側からも提案をすべき。</p> <p>④ 議会の皆様方の努力でこのような形をとっていることは、大いに評価をしたい。起債許可団体に転落するという記事は、三浦市としては恥である。起債許可団体に転落したことを議会としてどのように受け取ったのか。起債許可団体に転落した事実とこれが公表されたことについて、議会の中ではどのような議論がされたのか。もっと早い段階で取り組めなかったのか。</p>	<p>一層の歳入の確保を図るとともに、行財政改革に努めて、歳出の削減に取り組んでいくことが求められています。</p> <p>② 議会だよりは、質問を抜粋して載せていますので、本当のやり取りについては再現されていません。今後、議会だよりの形式をどのようにするかということになると思います。具体的な提案がもう少し表に出るような編集が今後の課題だと思います。</p> <p>③ 議案の賛否は、各党派や議員によっても物の捉え方が違いますので、今回は議会報告の場でありますので全体的な報告としました。議員からの提案について、本会議で各議員が一般質問を行い、市側に提案をしています。委員会の中でも、議案に対しても質疑をするときに、あわせて提案をすることもあります。最近では、旧三崎中学校の活用について、財政問題等特別委員会で委員の意見が一致したので、委員会から行政へ提案をした経過もあります。</p> <p>④ 起債許可団体については、一般質問等で指摘をしています。また、決算委員会の中でも質疑をしています。起債を抑制する取り組みや行財政改革のさらなる取り組みの推進、歳入増加策、歳出削減策について具体的な議論をしています。25 年度は二町谷の埋立地が売れる前提で予算を組んだ経緯がありますので、その時点では売却出来るということで進めてきましたが、結</p>
--	---	---

	<p>⑤ 公債費負担適正化計画では、今後5年間は新たな借り入れについては、県知事の同意か議会に報告をすればよいと言われているが、議会の皆様はどちらを選択したらよいと考えているのか。</p>	<p>果的にこのような結果になってしまったということです。</p> <p>⑤ 三浦市は、実質公債比率が18%を超えて地方債権許可団体に移行したため、県の許可がなければ新たな起債はできません。</p>
	参加者からの意見・要望等	議会の回答
参加者からの意見・要望等	<p>① 市議会議員数削減について。どんな小さな町でも最低の人数は必要であり、議員の数を減らそうとする馬鹿な案が出ないか心配である。議員の削減については考えてほしくない。</p> <p>② 報告会の広報の方法について、自分の周りでは報告会を知らないという人が多かった。また、中学生や高校生が来てもよいところであると思うが、広報の方法をお聞きしたい。</p>	<p>① 要望として承りました。</p> <p>② 広報は、各区の掲示板と回覧、市のホームページ掲載、区長会へのお願いをしましたが、周知が不十分だったのかと思うので、今回の意見を参考にして、今後、議会運営委員会で検討します。なお、各議員はそれぞれの支持者に対する呼びかけはしない申し合わせをしています。</p>

上記のとおり報告します。

平成 26 年 10 月 20 日

議会運営委員長 様

報告者 中谷 博厚

議会報告会の様子



南下浦地区担当の班員

右から

草間道治議員

小林直樹議員

藤田 昇議員

北川年一議員

中谷博厚議員

報告会会場全景

(南下浦市民センター2階講堂)



質疑応答の様子